

Microsoft System Center
Operations Manager 2007
R2/SP1 および System
Center Essentials 2007 用
Dell PowerVault MD
Storage Arrays
Management Pack Suite
バージョン 4.1
SP1 / 2010
ユーザースガイド



メモおよび注意



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 すべての著作権は **Dell Inc.** にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、DELL™ ロゴ、OpenManage™、および PowerVault™ は Dell Inc. の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、および Windows Vista® は米国およびその他の国々における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。外部のウェブ サイトやそのコンテンツについては一切責任を負いません。

2011年9月

目次

1	概要	5
	Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite	
	バージョン 4.1 の新機能	5
	Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite の	
	主な機能	6
	対応 Dell MD ストレージアレイ	6
	対応オペレーティングシステム	6
	管理ステーション	6
	管理下ノード	7
	Management Pack Suite のインストールと	
	アンインストール	7
	Management Pack Suite によってモデル化された	
	コンポーネントの詳細	8
	拡張性に関するデルの推奨	9
2	Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite 操作	11
	概要	11
	Web Console	12
	検出	12
	監視	14
	正常性状態インジケータ	14
	警告ビュー	15
	ダイアグラムビュー	16

	MD ストレージレイダイアグラム	17
	SCOM/SCE コンソールからの Dell 検出	
	ユーティリティの起動	19
	状態ビュー	19
	MD Storage Arrays Management Pack の	
	カスタマイズ	20
	オブジェクト検出	20
	ユニット監視	21
3	関連文書およびリソース	25
	Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと	
	拡張性に関する Microsoft ガイドライン	25
	その他の必要マニュアル	25
	テクニカルサポートの利用法	26
A	付録	27
	問題とその解決	27

概要

 **注意：**データ破損、または / およびデータ損失の危険性を避けるため、本書に記載されている手順の実行は、**Microsoft Windows** オペレーティングシステムおよび **SCOM** または **SCE** の知識と経験を持つ担当者に限定することをお勧めします。

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 は Microsoft System Center Operations Manager (SCOM) および System Center Essentials (SCE) 環境を統合し、Dell PowerVault MD ストレージアレイの管理、監視を可能にして、その可用性を確実にすることができます。

 **メモ：** Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite は Microsoft Systems Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1 / R2 および Systems Center Essentials (SCE) 2007 SP1 / 2010 バージョンでのみサポートされています。

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 の新機能

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 がサポートする内容は次のとおりです。

- 旧バージョンより向上した拡張性とパフォーマンス
- 次の MD ストレージデバイスに対応：MD3200、MD3200i、MD 3220、MD3220i、MD3600i、MD 3620i、MD3600f、および MD3620f
- 25 個の新規リカバリ障害アラート
- リカバリ障害に対するナレッジ文書の改訂およびアップデート
- SCOM コンソールからの Dell 検出ユーティリティの起動
- 拡張可能監視または詳細監視のオプション。詳細については、[Management Pack Suite](#) によってモデル化されたコンポーネントの詳細を参照してください。

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite の主な機能

表 1-1 機能と特徴

機能	機能性
Dell PowerVault MD ストレージアレイの検出および監視	<ul style="list-style-type: none">MD3000、MD3000i、MD3200、MD3200i、MD3220、MD3220i、MD3600i、MD3620i、MD3600f、および MD3620f の検出と監視をサポートします。MD ストレージアレイからのリカバリ障害イベントを管理します。MD Storage Arrays Management Pack によってモデル化されたすべてのコンポーネントに対して、ダイアグラムビューで写実的なアイコンで表示します。
Recovery Guru 情報へのアクセス	管理パックは、MD ストレージアレイの障害イベントをトラブルシューティングするときの参照として Recovery Guru 情報を提供します。

対応 Dell MD ストレージアレイ

Dell MD Storage Management Pack Suite バージョン 4.1 は次の Dell PowerVault MD ストレージアレイをサポートします。

- MD1000 をデジーチェーン接続した MD3000/MD3000i および MD3000/MD3000i。
- MD1200 または MD1220 をデジーチェーン接続した MD3200/MD3200i および MD3200/MD3200i。
- MD1200 または MD1220 をデジーチェーン接続した MD3220/MD3220i および MD3220/MD3220i。
- MD1200 または MD1220 をデジーチェーン接続した MD3600i/MD3620i/MD3600f/MD3620f および MD3600i/MD3620i/MD3600f/MD3620f。

対応オペレーティングシステム

管理ステーション

SCOM / SCE 用の管理ステーションでサポートされているオペレーティングシステムについては、Microsoft のウェブサイト

[http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428\(enus\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428(enus).aspx)

のリストを参照してください。

管理下ノード

帯域内でストレージアレイを検出した場合、シリアルアタッチド SCSI (SAS)、iSCSI (internet Small Computer System Interface)、または ファイバーチャネル (FC) の各ポートをを通して接続されているシステムに Modular Disk Storage Manager (MDSM) ソフトウェアをインストールします。

MDSM 用にサポートされているオペレーティングシステムのリストについては、デルサポートページ support.dell.com/manuals から入手できる Dell PowerVault

MD3200/MD3200i/MD3220/MD3220i/MD3000/MD3000i/MD3600i/MD3600f/MD3620i/MD3620f 各システム用のサポートマトリクスを参照してください。

Management Pack Suite のインストールとアンインストール

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 のインストールおよびアンインストールについては、自己解凍型実行ファイル

Dell_MD_StorageArray_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe

にパッケージされているインストールガイドを参照してください。また、support.dell.com/manuals のシステム管理マニュアルからも参照可能です。

Management Pack Suite によってモデル化されたコンポーネントの詳細

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 は、Dell MD Storage Arrays Management Pack (拡張可能)、および Dell Detailed Monitoring Overrides Management Pack の 2 つの管理パックから構成されています。

表 1-2 は、各管理パックによってモデル化されたコンポーネントおよび詳細を示しています。

表 1-2 管理パックの詳細とモデル化されたコンポーネント

管理パック	詳細およびモデル化されたコンポーネント
Dell MD Storage Arrays Management Pack (拡張可能)	<ul style="list-style-type: none">• MD ストレージアレイデバイスおよびそのコンポーネントすべてを検出します。• MD ストレージアレイの全体的な正常性が表示されます。• MD ストレージアレイの下にある個々のコンポーネントの正常性は無効化されています。• 検出された MD ストレージアレイのリカバリ障害イベントが表示されます。
Dell Detailed Monitoring Overrides Management Pack	<ul style="list-style-type: none">• MD ストレージアレイの下で発見されたすべてのコンポーネントのためのユニット監視を有効化します。• ダイアグラム ビュー内の個々のコンポーネントの正常性は次を表示します。<ul style="list-style-type: none">– ポリウム– コントローラ– ESM– 物理ディスク– ファン– バッテリ– 電源装置– エンクロージャの正常性– エンクロージャグループの正常性• NIC、シャーシ、およびファームウェアは、どの設定でも監視されていません。

拡張性に関するデルの推奨

6 台以上の MD ストレージアレイがある場合、Dell Detailed Monitoring Overrides Management Pack の削除が推奨されます。

Operations Manager データベースのオートグローブションを有効にすることで、MD ストレージアレイの数の増加に伴うトランザクションのログサイズの増加に対応できるようにします。

MD ストレージアレイの数の増加に伴うトランザクションログの増加に対応するため、Operations Manager Transaction には少なくとも 5 GB のディスク容量を確保するようにしてください。

Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite 操作

概要

この章では、Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite バージョン 4.1 を使用して Microsoft Systems Center Operations Manager (SCOM) または Systems Center Essentials (SCE) で実行できるさまざまな操作について説明します。

MD Storage Arrays Management Pack を使用することで、次の Dell PowerVault MD ストレージアレイを管理するための操作を実行することができます。

- ホストシステムの IP アドレスを使用して、コンポーネントの正常性を検出および監視、コンポーネントのインスタンスレベル情報の表示、および帯域外および帯域内における Dell PowerVault MD ストレージアレイに対する警告の表示を行います。詳細については、[検出および監視](#)を参照してください。
- コンソールタスクを用いて MD ストレージアレイの検出ユーティリティを起動します。詳細については、[SCOM/SCE コンソールからの Dell 検出ユーティリティの起動](#)を参照してください。
- オーバーライドを使用して、MD Storage Arrays Management Pack のパラメータのカスタマイズします。詳細については、[MD Storage Arrays Management Pack のカスタマイズ](#)を参照してください。

Web Console

Web Console サーバーを使用すると、Operations Manager コンソールの代わりに、ブラウザを使用して MD Storage Arrays Management Pack で Dell デバイスの監視と管理ができます。Operations Console をインストールせずに、Web Console サーバーを使用できます。Web Console には次の使用制限があります。

- すべての管理パックに対して、監視機能のみ提供可能。
- 個人ビューは使用不可。
- 警告ビューに表示される警告は最初の 200 個のみ。



メモ：警告 ビューは SCOM R2 ウェブコンソールにのみ適用できます。

検出

ネットワーク上の PowerVault MD ストレージアレイを検出する場合、PowerVault MD ストレージアレイの IP アドレスを含む IP リストファイルが重要な前提条件となります。

デフォルトの IP リストファイル **Dell_MDStorageArray_ip_sample.cfg** は、管理ステーション内の、Array Bridge Broker (ABB) ファイルが解凍された場所、および Dell 検出ユーティリティにあります。このファイルは、IP アドレス用の参照フォーマットを提供します。

Dell MD ストレージアレイを検出するには次の手順を実行します。

- 1 **Dell 検出ユーティリティ** を実行し、IP リストファイル、**Dell_MDStorageArray_ip.cfg** にネットワーク内の MD ストレージアレイの IP アドレスを投入します。
- 2 MD Storage Arrays Management Pack を SCOM Operations コンソールにインポートします。

MD Storage Arrays Management Pack を SCOM コンソールにインポートすると、管理パックがスケジュールされた間隔で IP リストファイルをスキャンし、PowerVault MD ストレージアレイの検出と監視を行います。デフォルトのスケジュールは 24 時間です。



メモ：Dell 検出ユーティリティを起動することで、追加の MD ストレージデバイスを検出することができます。詳細については、[SCOM/SCE コンソールからの Dell 検出ユーティリティの起動](#)を参照してください。

Dell MD Storage Arrays Management Pack は 2 つのレベルで検出を行います。表 2-3 は検出オブジェクトと影響を受けるグループをリストします。

表 2-3 検出オブジェクト、および、影響を受けるグループ

検出オブジェクト	説明	影響されるグループ
MD ストレージアレイのシード検出	後ほど投入される予定の検出オブジェクトに対する IP リストファイルから MD アレイデバイスの IP 詳細を取得した後、シードオブジェクトを作成します。	MD ストレージアレイのデバイスコンポーネント
MD ストレージアレイの検出	Dell MD ストレージアレイのハードウェアコンポーネントを検出します。MD アレイデバイスにコンタクトするために ABB ツールセットを使用し、デバイスインベントリおよび障害情報を取得します。	<ul style="list-style-type: none"> • MD ストレージアレイのバッテリー • MD ストレージアレイの電源装置 • MD ストレージアレイの RAID コントローラモジュール • MD ストレージアレイのエンクロージャ • MD ストレージアレイのファン • MD ストレージアレイの物理ディスク • MD ストレージアレイの仮想ディスク • MD ストレージアレイの EM モジュールグループ • MD ストレージアレイの現在の構成 • MD ストレージアレイのシャーシ • MD ストレージアレイのネットワークインタフェース

監視

Dell MD Storage Array Management Pack Suite v4.1 では、検出された Dell MD ストレージアレイデバイスを監視することが可能になります。**正常性状態インジケータ**は、ネットワーク上の MD ストレージアレイデバイスの正常性を監視するために役立ちます。

次のビューを使用して MD ストレージアレイデバイスを監視することができます。

- [警告ビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)

正常性状態インジケータ

表 2-4 は、Operations コンソールにおいて検出された Dell MD Storage Array デバイスの正常性状態を示すアイコンを表示しています。重要度の伝播についての詳細は[状態ビュー](#)を参照してください。

表 2-4 重要度のインジケータ

アイコン	重要度
	正常 /OK。コンポーネントは予想どおりに動作しています。
	警告 / 非重要。プローブまたはその他の監視デバイスによって、許容範囲外のコンポーネントの読み取り値が検知されました。そのコンポーネントは現在のところまだ機能しているようでも、そのうち故障する可能性があります。または、コンポーネントが不安定な状態で機能している可能性もあります。
	重大 / 失敗 / エラー。コンポーネントが故障しているか、故障が切迫しています。このコンポーネントを直ちに検査して、必要なら交換してください。データが消失した可能性もあります。
	特定のコンポーネントが監視されていません。
	サービスは利用できません。

警告ビュー

警告 ビューには、監視している PowerVault MD ストレージアレイから受信したイベントの警告が表示されます。

監視しているシステムに対する警告を表示するには。

- 1 **Operations** コンソールで **監視** をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示します。
- 3 **警告ビュー** → **MD ストレージアレイ警告** の順にクリックします。

Operations コンソールの **MD ストレージアレイ警告** ペインに監視しているすべてのストレージアレイに対する警告が表示されます。これらの警告は、**オーサリング** ペインで指定した重要度、解決状態、ユーザーに割り当てられた警告などの条件を満たします。

- 4 **警告の詳細** ペインで詳細を表示する警告を選択します。

Recovery Guru 情報へのアクセス

MD Storage Arrays Management Pack は、個々のイベントに関して **MD ストレージアレイ** をトラブルシューティングするときの参照として **Recovery Guru** 情報を提供します。

Recovery Guru 情報にアクセスするには、次の手順に従います。

- 1 **警告** ビューで警告を選択します。
- 2 **警告の詳細** ペインで、ナレッジベースの詳細にスクロールして情報を表示します。ナレッジベースには、原因、重要メモ、回復手順、または、コントローラが 1 つのストレージアレイの回復手順、コントローラが 2 つのストレージアレイの回復手順、および追加メモが記載されています。

ダイアグラムビュー

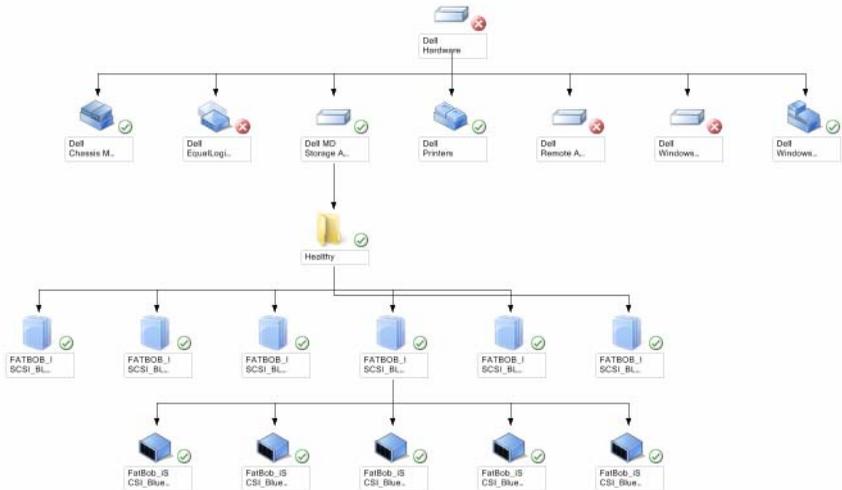
ダイアグラム ビューには、お使いのネットワーク上のすべての PowerVault MD ストレージレイの階層図と図形表現が表示されます。MD ストレージレイの **ダイアグラム** ビューには、MD Storage Arrays Management Pack によってモデル化された各種のコンポーネントの写実的なアイコンが表示されます。管理パックでは、次のビューが表示されます。

- [完全ダイアグラムビュー](#)
- [MD ストレージレイダイアグラム](#)

完全ダイアグラムビュー

完全なダイアグラムビュー には、SCOM が管理するすべての Dell デバイスが図示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。このビューのルートノードは **Dell ハードウェア** グループです。

図 2-1 すべての Dell デバイスの図形表現



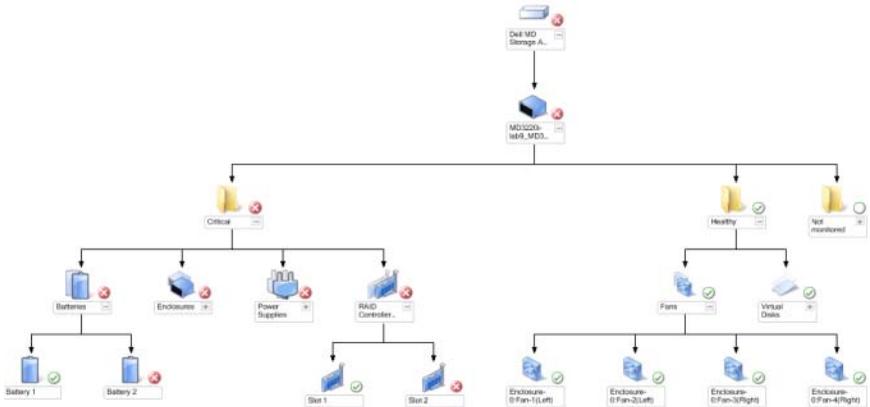
完全なダイアグラムビュー にアクセスするには。

- 1 Operations コンソールで **監視** をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示します。
- 3 **ダイアグラムビュー** → **完全なダイアグラムビュー** の順にクリックします。
- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

MD ストレージアレイダイアグラム

Dell MD ストレージアレイダイアグラム には、SCOM が管理するすべての Dell MD ストレージアレイが図示され、ダイアグラム内の各デバイスとそのコンポーネントを展開して、各デバイスの状態を確認できます。このビューのルートノードは **Dell MD ストレージアレイ** グループです。

図 2-2 SCOM によって管理されている Dell MD ストレージアレイの図形表現



ストレージデバイスの正常性状態やイベント処理を表示することもできます。
MD ストレージレイダイアグラムにアクセスするには、次の手順に従います。

- 1 **Operations** コンソールで **監視** をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
- 3 **Dell ストレージレイ** → **ダイアグラムビュー** → **MD ストレージレイダイアグラム** の順にクリックします。
- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。MD ストレージレイの次のハードウェアコンポーネントの詳細が表示されます。
 - バッテリ
 - ファン
 - 物理ディスク
 - 電源装置
 - RAID コントローラモジュール
 - 仮想ディスク
 - エンクロージャ
 - エンクロージャ管理 (EM) モジュール

MD Storage Arrays Management Pack では、ストレージレイの次のコンポーネントは監視されません。

- シャーシ
- 現在の設定
- ネットワークインタフェース

MD ストレージレイダイアグラム ビューには、**監視されない** グループに上記のコンポーネントが表示されます。



メモ：EM モジュールはデジチェーン接続された MD ストレージレイに適用できます。

SCOM/SCE コンソールからの Dell 検出ユーティリティの起動

コンソールタスクを使用して Dell 検出ユーティリティを起動することができます。コンソールタスクは、操作コンソールの **処置** ペインから実行できます。いずれかの Dell ダイアグラムビューでデバイスやコンポーネントを選択すると、関連タスクが **処置** ペインに表示されます。

Dell 検出ユーティリティを起動するには次の手順を実行します。

- 1 **完全なダイアグラム ビュー**、または **MD ストレージレイ** ダイアグラムにある **Dell MD ストレージレイ** グループを選択します。
- 2 **処置** ペインにある **Dell MD ストレージレイのタスク** の下にある **Dell 検出ユーティリティの 起動** をクリックします。



メモ：検出された MD ストレージレイを確認できるのは、次の検出サイクルの時のみです。

状態ビュー

状態ビュー には、ネットワーク上で SCOM または SCE で管理されている各 Dell デバイスの状態が表示されます。MD ストレージ管理パックは、ネットワーク上の Dell MD ストレージレイの正常性を監視する際に役立つ重大度インジケータのリストを提供しています。

状態ビュー にアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 **Operations Console** で **監視** をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
- 3 **状態ビュー** → **MD ストレージレイ** の順にクリックします。
Operations コンソールでは、監視しているすべての Dell ストレージレイの状態が右ペインに表示されます。
- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示する状態を選択します。

MD Storage Arrays Management Pack のカスタマイズ

オーバーライドを使用して、次の MD Storage Arrays Management Pack の検出パラメータをカスタマイズすることができます。

- **有効**：検出を有効または無効にできます。**オーバーライド設定** を **True** または **False** に設定できます。
- **間隔秒数**：Dell 管理パックが、Dell デバイスのコンポーネント インスタンスとその属性を検出する頻度（秒数）。この属性のデフォルト値は、**86400** 秒（24 時間）です。
- **IP 設定ファイルパス**：異なるファイルまたはフォルダの場所を使用している場合、このパラメータをオーバーライドします。デフォルトで、IP リストファイルは **C:\¥Dell_MDStorageArray_ABB** にあります。IP リストファイルの設定の詳細については、インストールガイドを参照してください。インストールガイドは自己解凍型の実行ファイル **Dell_MD_StorageArray_Management_Pack_Suite_v4.1_A00.exe** 内にパッケージされています。**support.dell.com** から実行ファイルをダウンロードできます。

SCOM コンソールの **オーサリング** ペインでオーバーライドパラメータを指定できます。

オブジェクト検出

オブジェクト検出用のオーバーライドパラメータを指定するには次の手順を実行します。

- 1 SCOM コンソールを開いて、**オーサリング** タブをクリックします。
- 2 **オーサリング** ペインの **管理パックオブジェクト** の下で **オブジェクトの検出** を選択します。
- 3 MD ストレージアレイのシード検出グループオブジェクトを選択し、その下にある **Dell MD ストレージアレイのシード検出** を選択します。
- 4 選択したオブジェクト検出を右クリックし、ポップアップメニューから **オーバーライド** → **オブジェクト検出のオーバーライド** と選択すると、オーバーライドする特定のタイプのオブジェクト、またはグループ内のすべてのオブジェクトを選択することができます。
- 5 オーバーライドしたい該当検出パラメータを確認し、その **オーバーライド値** を設定します。
- 6 新しい管理パック上でオーバーライド設定を保存します。
- 7 **適用** をクリックします。

- 8 検出間隔をオーバーライドするには、同様に **MD ストレージアレイのシード検出グループ オブジェクト** で **Dell MD ストレージアレイのシード検出** を選択し、**手順 4 ~ 手順 7** を繰り返してください。

 **メモ**：MD Storage Arrays Management Pack をバージョン 4.0 から 4.1 にアップグレードする場合、バージョン 4.0 で指定した検出間隔のオーバーライドは、**シード検出** 間隔にのみ引き継がれます。

 **メモ**：同じスケジュールで両方の検出サイクルを行うには、**Dell MD ストレージアレイの検出** 間隔の設定を、**シード検出** 間隔で指定されたものと同じ間隔（秒）にオーバーライドします。

ユニット監視

オーバーライドを使用して、MD Storage Arrays Management Pack のユニット監視の次のパラメータをカスタマイズすることができます。

- **有効**：モニターを有効または無効にできます。**上書き設定** を **True** または **False** に設定できます。デフォルトの設定は **True** です。
- **間隔秒数**：管理パックがコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスをポーリングする頻度（秒数）。モニターのデフォルト設定は **3600 ~ 4300** 秒です。

 **メモ**：MD Storage Arrays Management Pack をバージョン 4.0 から 4.1 にアップグレードする場合、バージョン 4.0 で指定したユニット監視のオーバーライド設定はバージョン 4.1 に引き継がれず、機能しません。

ユニット監視にオーバーライドパラメータを指定するには、次の手順を実行します。

- 1 SCOM コンソールを開いて、**オーサリング** タブをクリックします。
- 2 **オーサリング** ペインの **管理パックオブジェクト** の下で **監視** を選択します。
- 3 コンポーネントユニット監視を選択し、右クリックして **オーバーライド** → **監視のオーバーライド** と選択します。特定のタイプのオーバーライドオブジェクト、またはグループ内のすべてのオブジェクト用のオーバーライドオブジェクトを選択することができます。
- 4 オーバーライドしたい該当監視パラメータを確認し、その **オーバーライド値** を設定します。
- 5 新しい管理パック上でオーバーライド設定を保存します。
- 6 **適用** をクリックします。



メモ： 検出間隔（秒）をオーバーライドした後、ユニット監視が再初期化された結果として、MD アレイコンポーネントの正常性状態が **正常** になる場合があります。次回のユニット監視サイクルで、コンポーネントは元の正常性状態に戻ります。

表 2-5 に各種の Dell ユニットモニターと Dell MD ストレージアレイに適用可能なパラメータを示します。

表 2-5 Dell モニター - MD ストレージアレイ

グループ	ユニットモニタ名	説明	デフォルトの定期ポーリング設定
MD ストレージアレイの状況情報	Dell MD アレイデバイスの状態（定期）	すべての MD ストレージアレイのユニット監視： ストレージアレイのグローバル正常性状態を追跡します。	4300 秒 (72 分)
Dell MD アレイのバッテリー	Dell MD アレイバッテリーの状態（定期）	MD ストレージアレイバッテリーのユニット監視： ストレージアレイのバッテリーユニットの正常性を示します。	3600 秒 (60 分)
Dell MD アレイの RAID コントローラ	Dell MD アレイコントローラの状態（定期）	MD ストレージアレイ RAID コントローラモジュールのユニット監視： ストレージアレイの RAID コントローラモジュールの正常性を示します。	3600 秒 (60 分)
Dell MD アレイのファン	Dell MD アレイファンの状態（定期）	MD ストレージアレイファンのユニット監視： ストレージアレイのファンの正常性を示します。	3600 秒 (60 分)
Dell MD アレイの物理ディスク	Dell MD アレイ物理ディスクの状態（定期）	MD ストレージアレイ物理ディスクのユニット監視： ストレージアレイの物理ディスクの正常性を示します。	3600 秒 (60 分)
Dell MD アレイの電源装置	Dell MD アレイ電源装置の状態（定期）	MD ストレージアレイ電源装置のユニット監視： ストレージアレイの電源装置の正常性を示します。	3600 秒 (60 分)

表 2-5 Dell モニター - MD ストレージアレイ (続き)

グループ	ユニットモニタ名	説明	デフォルトの 定期ポーリン グ設定
Dell MD アレイの 仮想ディスク	Dell MD アレイボ リュームの状態 (定期)	MD ストレージアレイ仮 想ディスクのユニット 監視 : ストレージアレイ の仮想ディスクの正常性 を示します。	3600 秒 (60 分)
Dell MD アレイの エンクローチャサー ビスモジュール	Dell MD アレイ ESM の状態 (定期)	MD ストレージアレイ EM モジュールのユ ニット監視 : ストレージ アレイの EM モジュール の正常性を示します。	3600 秒 (60 分)
Dell MD アレイの EM モジュールグ ループ	Dell MD ストレージア レイ可用性ロールアップ	MD ストレージアレイの エンクローチャ管理モ ジュール用依存性監視 : エンクローチャにある物 理ディスクコンポーネン トの総合的な正常性を示 します。	
Dell MD アレイエ ンクローチャ	Dell MD ストレージア レイ可用性ロールアップ	MD ストレージアレイの エンクローチャ用依存性 監視 : エンクローチャに ある物理ディスクコン ポーネントの総合的な正 常性を示します。	

関連文書およびリソース

この章では、Dell MD Storage Arrays Management Pack Suite v4.1 の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Dell 管理パックを展開します。

Microsoft が推奨する拡張性に関する情報については、Microsoft のウェブサイト

[http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402(en-us).aspx) を参照してください。



メモ：パフォーマンス向上のため、Autogrow オプションが Operations Manager Data Warehouse および / または Database で有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本『ユーザーガイド』に加え、デルサポートサイト

support.dell.com/manuals に掲載されている次のガイドを参照する必要があります。

- 『Dell PowerVault MD3000 および MD3000i アレイチューニングのベストプラクティス』
- 『Dell PowerVault MD3000 および 3000i サポートマトリクス』
- 『Dell PowerVault MD3200 および MD3220 サポートマトリクス』
- 『Dell PowerVault MD3200i および 3220i サポートマトリクス』
- 『Dell PowerVault MD3600 および 3620f サポートマトリクス』
- 『Dell PowerVault MD3600i および 3620i サポートマトリクス』
- 『ハードウェアオーナーズマニュアル』
- 『Dell PowerVault Modular Disk Storage Manager ユーザーズガイド』
- 『Dell PowerVault MD3000i を一重モードから二重モードにアップグレードする方法』

本書で使用されている用語については、デルサポートサイト

support.dell.com/manuals の「用語集」を参照してください。

テクニカルサポートの利用法

このマニュアルに記載した手順に不明な点がある場合 や、お使いの製品が予想どおりに動作しない場合は、さまざまなヘルプをご利用いただけます。詳細については、お使いのシステムの『ハードウェアオーナーズマニュアル』の「困ったときは」を参照してください。

さらに、Dell エンタープライズのトレーニングと資格認定もご利用いただけます。詳細については、www.dell.com/training を参照してください。地域によっては、このサービスをご利用いただけない場合もあります。

付録

問題とその解決

次の表では、既知の問題、解決法、および問題の対象となるアプリケーションを一覧表示します。

表 A-1 問題とその解決

問題	解決	該当アプリケーション
Dell の警告が時刻順に表示されない。	<p>この問題が発生している管理下システムのレジストリを確認します。ソートフラグが「false」に設定されたままのビュー定義が残っている可能性があります。ソートフラグに変更が加えられている管理パックをインポートすると、ソートフラグがレジストリ内で更新されない場合があります。ビューの設定をレジストリから削除すると、同じビューに再びアクセスしたときに、新しい管理パックが再作成されます。レジストリでそのビューのソートフラグを編集することも可能です。</p> <p>レジストリの編集</p> <pre>HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Microsoft Operations Manager\3.0\Console\GUI\ D.ViewTitle\AlertsView\ Age</pre> <p>警告のソートを有効にするには、IsSortable と IsSorted のキーを「1」に設定します。</p>	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
特定の状況下で、 ハンドル数しきい値 および プライベートバイトしきい値 が管理サーバーの Operations Console に表示される場合がある。	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB968760 でこの問題は解決します。</p>	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1

表 A-1 問題とその解決

問題	解決	該当アプリケーション
<p>特定の状況下で、イベント ID が 623 でイベントソースが Health Service ESE Store のエラーメッセージが管理サーバーの Operations コンソールに表示される場合がある。</p>	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB975057 でこの問題は解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>System Center Operations Manager 2007 コンソールが特定のオペレーティングシステム上でクラッシュすることがある。</p>	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB951327、KB951526 でこの問題は解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>次のような問題が発生する場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウェブコンソールが開かない。 • マイワークスペースページが表示されない。 • パフォーマンスビューおよび電源監視ビューが表示されない。 • 正常性サービスがシステム上で起動しない場合がある。 	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB954049 でこの問題は解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>Administration Console のレポートスペースで、レポートが正しく表示されない。</p>	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB954643 でこの問題は解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>正常性サービスがクラッシュしたことが原因で、SCOM コンソールが断続的に「正常性サービスのホストプロセスに問題が発生したため、ウィンドウを閉じる必要があります」というエラーメッセージが表示される。また、Dell デバイスの検出と監視に予期しない動作が見られる場合がある。</p>	<p>Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に記載されている Microsoft KB951526 でこの問題は解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>

表 A-1 問題とその解決

問題	解決	該当アプリケーション
Windows Server 2008 または Windows Vista ベースのコンピュータを SNMP デバイスのプロキシエージェントとして使用する場 合、SCOM 2007 が SNMP トラップデータを受け取る ことができない。	Microsoft サポートサイト (support.microsoft.com) に 記載されている Microsoft KB958936 でこの問題は解決しま す。	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1

